

経営戦略として働き方改革に取り組み、仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりや、労働生産性の向上を実現するため、「働き方改革」を考えるシンポジウムを開催

日時

令和2年1月14日(火)
14:00～17:00(～18:30 交流会)

対象

経営者・管理職・人事担当者のほか
ご関心のある方200名程度

会場

サンフォルテホール
(富山市湊入船町6-7)



小室 淑恵氏プロフィール
1000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げるコンサルティング手法に定評があり、残業削減した企業では業績と出生率が向上している。「産業競争力会議」民間議員など複数の公務を歴任。2児の母。

プログラム (予定)

第1部 働き方改革の取組事例紹介

(株)SCREEN SPE ワークス(高岡市 製造業)
(株)サカタ製作所(新潟県長岡市 製造業)

第2部 基調講演

「業績とモチベーションが上がる！
経営戦略としての働き方改革」
(株)ワーク・ライフバランス代表取締役社長
小室 淑恵氏

第3部 パネルディスカッション

「イクボスが進める『働き方改革』
～働き方改革で業績を伸ばそう～(仮)」
ファシリテーター:小室 淑恵氏
パネリスト:事例発表者2社
稲垣 晴彦氏(女性の活躍推進委員会委員長)
石井 隆一(富山県知事)

交流会(参加企業のネットワークを強化します!)

株式会社SCREEN SPE ワークス (高岡市/従業員数: 196名/製造業)

取組みの背景・特徴ある取組み

○藤木社長就任以降、業績向上へ向けQCサークルを開始。その後Gengeプロジェクトへと発展

< Gengeプロジェクトの一例 >

・VJ(バリュー・ジャッジメント)活動: 専用ツールを使い、1つの業務に費やした工程を記入し、目的の作業のバリューと準備や調整などのノンバリューに分類し、ノンバリューの時間をゼロに近づけるための改善の方策を検討。

(例)フォークリフトの運搬作業、総務の勤怠管理

・取組にあたっては、サポーター(上司や同僚)による支援や表彰など、社員自身が業務改善の効果を実感し、モチベーションを維持できるよう工夫している。

○仕事分析にて属人化業務を標準化

○ホタルイカ経営で課別PLで経営者目線に

○はちめプロセス管理(QCDPSME)で課の垣根を取り、滞留債権や滞留在庫の削減、良い改善の横展開

○育児などにより時間的制約がある時期などライフステージに応じて多様な働き方を選択できる登用制度を導入

○指定した年5日のメモリアル休暇が近づくと上司に連絡が行き、休暇の取得を促進

○社長と従業員の「ざっくばらんどリンク会」の定期的な開催、気づき箱を設置し1週間程度で対応回答

VJ (バリュー・ジャッジメント) 活動

一つの
作業

細分
化

プロセス
プロセス
プロセス
プロセス

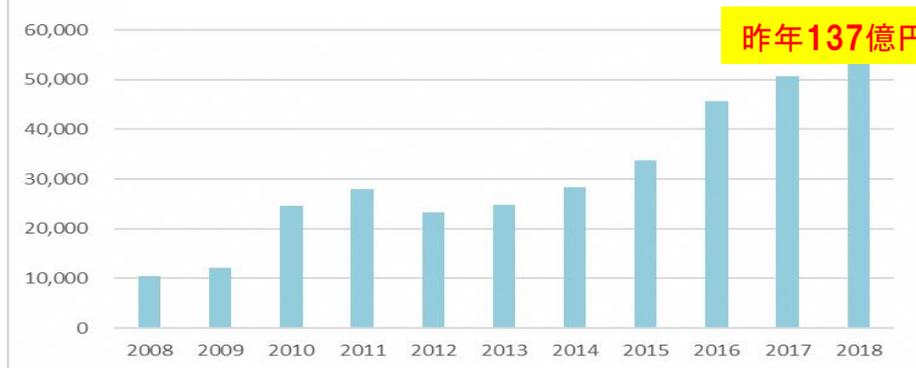


VJ活動によりムダ
作業や非効率作業
を洗い出す!

成果

- ・活動により向上した収益を賞与として従業員に還元
- ・全社員の残業時間14h/月にまで削減、業績向上と休暇取得(87%)を実現

一人当たりの売上は年々増加!



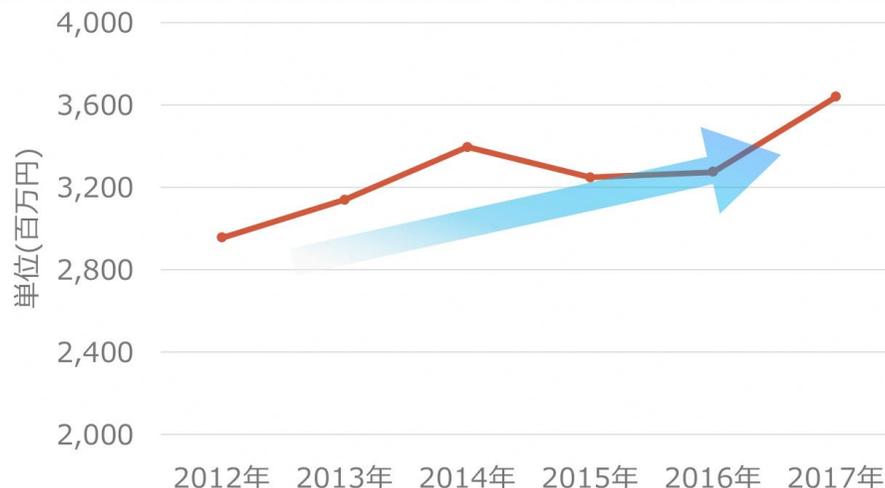
取組みの背景・特徴ある取組み

- 2014年 社内で実施したワーク・ライフ・バランスに関する研修会を契機に、坂田社長が「残業ゼロ」を宣言し、残業削減に取り組む社員管理職を高く評価すると明言
- 勤怠情報の見える化・時差出勤やワークシェアリング等の工夫、長時間労働抑制アラート、副業を承認
- 15分単位で業務棚卸データを集計し、部署間の重複類似業務を排除、無意味な資料作成を見直した。
- 健康経営の積極的な推進：会社負担でインフルエンザ予防接種・歯科検診、卒煙表彰、毎朝ラジオ体操
- アンケートではなく面談で社員のホンネを引き出し、役員・上司から休めと指示

残業ゼロ宣言後 残業激減 「残業しない」があたり前に



主要事業の売上は堅調に上昇中



成果

- 残業▲21,750時間、残業代▲3,445万円減少（2014/15年対比）全額賞与で社員に還元
- 有休取得率向上（72.3%）
- 男性育児休業取得率は100%で平均取得日数は約4週間